



なにわホネホネ団  
通信 No.7

2008.2.4 発行

題字「前田結団員作のほねほねボード」より



祝！ホネ史上初の助成金「花王コミュニティミュージアム・プログラム」！

ド貧乏だったホネホネ団。通信や団長本の用紙すら買えずに寄贈してもらっていたので、毎回厚みや色がばらばら。しかし！今年は花王財団の助成金がもらえました!!! 花王の皆様ありがとうございます。おかげでかなり活動しやすくなりました。

こんにちはは団長です。  
ホネホネ団にはいるとき、団員のみなさんは少なからず「全身骨格組んでみたい」と思ったのではないのでしょうか？それが入団したら皮むき皮むき骨洗い、肉炊き肉炊き...とウエットな作業ばかり。まあ博物館の標本はぺらっとした毛皮とばらばらの骨にするまでで十分なだけけど、何より教える人も組み立ての道具も時間もないつちゅう状況がありました。さらに某昆虫担当学芸員の「ホネホネ団じゃなくてムキムキ団やな」というコメントに、いつかかっこいい全身骨格をみんなで作らねば、と団長は密かに闘志を燃やしておりました。そこで「みんなで作る骨格標本プロジェクト」と題して応募したら、通ってしまいました！ウーイ。

kao  
community  
museum  
program

この助成金、ミュージアム（美術館・博物館・資料館等）を活動の場としている市民団体を応援し、その活発な活動を通してミュージアムを活性化するというのが目的の新しい助成プログラムです。

でも、こうした「利用者そのもの」を支援するという性格の助成金は、もしかしたら日本初の試みではないでしょうか？ちなみに応募総数は154件！採用は16団体だったそうです。

そんなわけで去る9月の末、東京での授与式に前田団員・河原団員・橋団員と団長4人で行ってきました。株主総会とかしちゃう、豪華な冬毛のテンのようなモッフモッフの絨毯の部屋でした。ヘルシア飲みながら他の団体さんと交流会もしてきました。さすが大企業、料理が上等です（中学生二人組はケーキを二人で1ホールくらい、団長は握り寿司を十貫近く食べ帰りの新幹線で死にそうに...）。

私たちの大阪自然史博ではなじみ深い感覚ではあるけど、ホネホネ団のように博物館にくらいについて、施設のあり方や夢や将来像を共有しつつ、自分たちのやりたいこともどんどん一緒に楽しそうにやっている団体は珍しかったようで、選考委員の人たちの心をわしづかみだったと聞きました。全国的に見てボランティアや市民団体が当たり前のようにはミュージアムに入入りして、主体的に関わったり新しい活動を企画している例はそれほど一般的ではないみたい。あちこちでホネホネ最高とかホネホネいいですねと言われて、ちよっと幸せでした。完成にむけてみんなでがんばりましょう！

(ニシザワ)

この記事は団長のmixiの日記を一部加工してあります。

## なにわホネホネ団入団のころ

唐突だが…「死体」と聞いたら、普通の人にはどんな反応するだろうか？たぶん「怖い、汚い、臭い、気色悪い」という反応だろう。「桜の木の下には 死体が埋まっている」という詩が、インパクトがあるのも、そういう感覚があるからだ。実は、この私も数年前、烏帽子型公園で初めてタヌキの死体を前にしたときは、「うわ～・・・」と思った。そのときは、ちょっと持って帰る「勇氣」が起きなかった。それを博物館にもっていったのは、Iさんという方だった（今なら躊躇せずに持ち帰るが・・・）。自然史博物館では、色々な動物の死体を、よほどぼろぼろに壊かれていない限り、受け付けてくれる。クール宅急便で送ってください、ということだそう。

さて、私は2004年5月2日から、「なにわホネホネ団」に参加している。「僕らが死体を拾うわけ（この題名もそうとう怪しい）」…埼玉県にある、自由の森学園の理科教師、盛口満さん（現在は沖縄県那覇市の珊瑚舎スコーレの教師）の本を読んだ。生徒たちと、タヌキやイタチなんかの死体を解剖したり、もちろん生きてるいのを観察したりしているのを描いた本である。すごくうらやましかった。こういう学校に入りたかった、と思った。

その実習の現場が大阪の自然史博物館に出現している。「ホネホネ団は自由なホネと死体好き人間の集団です。」…それが、「なにわホネホネ団」である。その前日、団長からの案内メールでは、ハクビシンとテンとマンガースの皮剥ぎの予定だった。

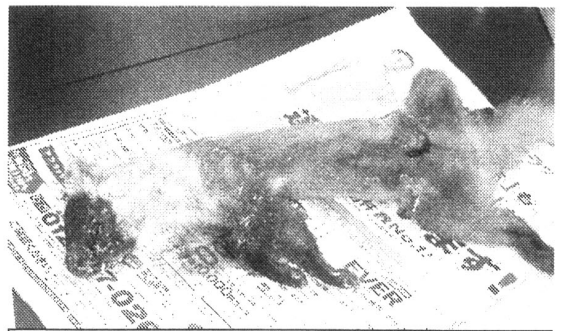
でも実習室には誰もいない。通用門受付で聞いて見ると、「その入り口でやってますよ」という。そこを見ると、若い人たちが集まって何かやってる。中学生くらいの女の子も数人いる。何やってんのかな？とよく見ると…、なんと！ 通用門の中に置かれた台には、ドーンとホッキョクグマが！！。痛みやすい内臓は処分されてるが、それでも「尾頭付き」。手脚付き。天王寺動物園で、その日の朝に死んだので、博物館で引き取ったそう



ホッキョクグマの解体。  
さすがにすさまじい！

だ。それを、10人がかりで皮を剥いでいるのだが、驚いたことに半分以上が若い女性！「僕らが死体を拾うわけ」にも書かれていたが、女性は意外とこういうことには強いようだ。で、私も早速混ぜていただき、ホッキョクグマの皮剥ぎに挑戦。たまたまメスが足りず、常時持参しているアーミーナイフが役に立った。夕方5時ごろから始めて、すっかりきれいに剥けたのは20時ごろ。皮を剥いだあとは、筋肉を取り除き、関節を外して解体する。骨にしやすいための。皮は水洗いして、翌日からは皮下脂肪をこそげ、乾燥させ、なめす、という作業。ホッキョクグマって、毛は白いけど、皮は黒いんですね。知識では知ってたけど、実物見て納得。

参加してるメンバーは、半分以上が十代から二十代の若者。しかも3分の2が女性。最年少は、小学5年生という。これにはかなり賛否両論、あると思う。小中学生から、そんな血なまぐさいこと体験していいものかどうか…。という具合に。ホネホネ団の主旨は、交通事故やガラス窓に衝突して不慮の死を遂げた動物や鳥などを、その死を無駄にしたい、丁寧に葬って、標本として役立たせたい、とい



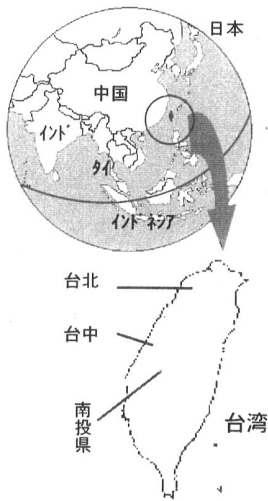
車に轢かれて頭部がひしゃげたテン。このあと、私が半分剥き、細かいところは副団長が剥いた。





乾 (団員No.36)

なにわホネホネ団の世界デビューを目指してまずは身近な外国、台湾に行ってきました。関空からひと飛び3時間で常夏の中華こと台湾(地図参照)。8月末の最高気温は35℃で湿気も高くさすが亜熱帯。でも室内はクーラーでがらがん冷やしちゃうので、長袖上着は不可欠。朝晴れていても夕方にスコール、だから傘も必需品。道案内や看板は漢字なので読む分には困りません。都市部にはコンビニもたくさんあります。もちろん中華のお好きな方にはパラダイス、果物もデリシヤス。台湾料理は琉球や南九州の伝統料理になんとなく似ていて嬉しかったなあ。台湾人は朝早くて夜も遅い。バイタリティーあふれる人たちです。楽天的でクヨクヨせず、そしてなにより親日的。北京語も台湾語も全く理解できませんでしたが、英語と日本語と身振り手振りですれなりに通じたようです。



今回の行程を次の表にまとめました。着いた次の日から2日間、アジア野生動物医学会・獣医

表 今回の行程

8月29日	関空発→台北着
8月30-31日	台湾大学でアジア野生動物医学会のポスター発表
9月1日	台北動物園で出張ホネホネ鳥剥き。
9月2日	台中へ移動。自然科学博物館&植物園見学。
9月3日	中興大学でホネホネ講演。南投県特有生物研究保育中心見学。
9月4日	台北へ移動。国立博物館見学、お土産めぐり、夜市見物。
9月5日	台北発→関空着

病理学会が台北市内の台湾大学獣医学部(写真1)で開催されました。日本統治時代の旧帝国大学のひとつで、東大や京大と同じエリート学府。でも学生さんたちは気さくで好い感じ。学会参加国は台湾、韓国、タイ、インドネシア、ベトナム



写真1. 台湾大学

マレーシア、フィリピン、オーストラリア、日本。総勢2〜300人位のアットファミリ—な学会でした。ホットなテーマその1は「センザンコウ(穿山甲 Pangolin, 写真2&3)」。体毛が

鱗に特殊化した哺乳類で、危険を感じると丸くなって身を守るのはアルマジロと似ています。歯がなく長い舌でアリやシロアリの器用に舐め捕るのでアリクイやアルマジロの仲間、貧歯目と思いついて入りましたが、今はセンザンコウ目として独立。遺伝子的にはなんとネコ目やウマ目に近いそう(へっ)。こんな風に起源の異なる生物が進化の過程で互いに似てくる現象を収斂進化



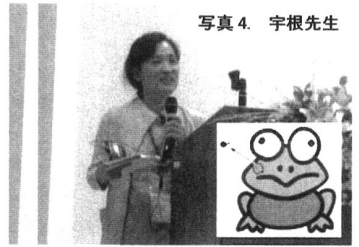
写真2. センザンコウ

写真3. センザンコウの頭蓋骨

(Convergence)と言います。アジアでは迷信に基づく伝統薬の材料として密猟が絶えず、数が激減しているため緊急テーマに取り上げられました。

テーマその2はおなじみ「カエルのツボカビ症」。コーデイナーターは天王寺動物園の高見一利さんです。中米やオーストラリアの惨状をロ、マラティーニ、日本における衝撃の第一症例発見譚を麻布大学の宇根先生(写真4)から伺いました。

写真4. 宇根先生



一方、台湾ではツボカビより、急激な都市化によるカエルの生息地減少がひつ迫した問題のようでした。

講演の合間合間がポスターセッション。私たちの演題は「Caracas Science for citizen (市

民に開かれた死体科学)」。谷さんに「苦労いただいた素晴らしいポスター(写真5)の前で、講演の合間時間に身振り手振りを交えてなにわホネホネ団の目的と活動を説明しました。

○生き物が好き。だからここまでやる！

○専門家でなくてもルールを決めてやればOK

○死体が貴重な標本に生まれ変わったときの

達成感

○骨の美しさに感動

○他の同好グループや芸術家とのコラボ

等等等…

国は違っても、ホネホネ魂は理解してもらえた様子。ポスターの中に小ネタ的に入れた「ネコのネコ」の受けも上々(写真6)。この手のネタは今後もどんどん探しましょう！

学会3日目は大学を出てエクスカーション、出張ホネホネ@台北動物園。直前に意気投合した岐阜大の学生さんといっしょに1時間半ほど事務



写真7. 鳥の仮剥製作り

写真5. ポスターの前で

写真8. ホネホネ取蔵庫

写真6. ネコのネコを指さして

局長直伝の鳥の仮剥製作りを実演しました(写真7)。おかげで非公開の動物病院とホネホネ取蔵庫(写真8)のバックヤードツアーという特典つき。「素晴らしい標本が沢山ありますね〜」。って外交辞令に、「まあこんだけ助からんかったてこと。」それを言っちゃ〜、身もふたもない。

次の日、春に完成したばかりで明るいオレンジ色の台湾新幹線で台中に移動し、自然科学博物館と植物園を見学しました。おりしも、博物館の企画展は日本人昆虫学者佐藤正孝先生の回顧展(写真9)。世界的な鞘翅目研究者で、こよなく

台湾を愛した故佐藤先生は十二万点もの標本をこの博物館に寄贈したそうです。偉いつ〜ミュージアムショップのホネホネグッズ(写真10)には思わずニコニコしてしまいました。大阪自然史博でも置いてみませんか？



写真9. 台中の自然科学博物館

写真10. ミュージアムショップ

翌日は中興大学獣医学部のお招きで先生方や学生さんたち相手に、なにわホネホネ団の講演。そのままだと廃棄される死体を学術標本に仕上げる価値、動物園や博物館と結びついた市民レベルの活動意義、将来の目標などについて団

長の受け売りを1時間ほど語らせていただきました(写真11)。獣医にとって手術や解剖はお手の物ですが、標本作りは目新しい話。そのせいか、骨のさらし方や皮の処理方法な



写真11 中興大学でホネホネ講演

ど技術的な質問が多かったな。ちよつと警戒していた感染症対策の質問は皆無で、拍子抜け。

午後は台中から車に2時間ほどの南投県特有生物研究保育中心を訪問しました。ここは台湾固有の動植物の研究所と傷病野生動物の保護センターを兼ねています。台湾本島は九州ほどの面積で沖縄より南にある亜熱帯の島ですが、背骨となる山々には富士山より高い山もあり、生物多様性の豊かな所です。それだけに貴重な生物種も多く、経済発展と自然保護の狭間でせめぎ合っているのは日本と同じかな。爬虫類、鳥類、哺乳類など様々な傷病動物が収容され治療を受けて野生に復帰するのを待っていました。ツシマヤマネコの親せき筋にあたる小石虎がとてもラブリ〜(写真12)。薬石効なく亡くなった動物たちは、普通種、希少種の差別なく標本化され、温室度が適正に管理された巨大な収蔵室に保存されています(写真13)。その数とみごとな品質、そしてなによりその熱意にすっかり圧倒されま

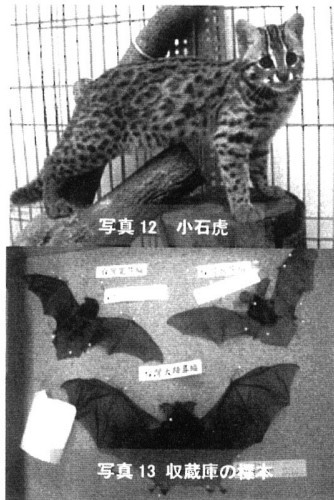


写真12 小石虎

写真13 収蔵庫の標本

した。

翌日再び新幹線で台北に戻り、国立博物館とお土産巡り、そしてお約束の夜市(写真14&15)で舌鼓を打ち、翌朝日本に帰ってきました。



写真14. 夜市の看板

写真15. 海鮮お好み焼き

駆け足のように過ぎた8日間、最初から最後まで感激の旅でした。台湾のホネホネプロフェツシヨナルのお仕事を拝見できましたが、アジアでは市民レベルの活動はまだまだ。でも、このような小さな外交がいつか国際ホネホネサミットに繋がればなあ〜と願ってやみません。末筆になりましたが、「ご理解・ご協力」ご援助いただいた皆様、心よりお礼申し上げます。



ようこそ! ホネホネ団へ。

# ホネホネ团的自己紹介

左ページはホネホネ団に入団したみなさんのいこしょうかいコートです。家族参加やネットや新聞でみて車身のりにいじる猛者が増えました。

丸や子アサミへつ。 → No.68 曾山

No.87 矢田部

No.69 曾山

神戸から来てるUMAです  
中学生は人の目をごまかす  
夜の姿です  
肉よりも骨が好きです

団員 松下さんより教えて  
頂きました。以前より興味  
があったため入団させて頂き  
ました。

動物は前から好きだったの  
ですが、道路でひかわれている  
のを見てかっこいい感じが  
あると思うだけでした。最近  
は何かに使えないかなという  
風を感じるようになって  
います。いろいろとご迷惑をお  
かけしますが、どうぞ  
よろしくお願いします。

矢田部 拜

大石アサミの紹介で入団は  
した。

学術的興味もさることながら、

骨洗、肉取り、皮ぬき……  
などチマチマと種々の骨洗作業

は意外性にあふれています。

毎回様々な新しい事に出会い

驚きと興奮の連続です。

大型動物の骨洗いが楽しいです。



No.70 曾山 (父)

A型 天秤座

特技：水泳、宝石鑑定

ギター

動物大好き！

毎回新しい発見の  
連続です。

No.86 高濱

たまに1.和田さんのHPに遭遇し

ホネホネ団を知り、なんだか面白  
そうだったので入団しました。

今まで動物にはそれほど関心が  
なかったのですが、ホネ活動を始めて  
から、色んな生き物が、かっこよくな  
りました。

今は、ツツノオトコゴに興味があります。

普段は普通の会社員です。

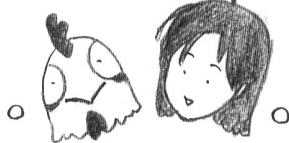
趣味で能楽を習っています。

活動中は、教えて頂くことが沢山

あり、思いますが、宜しくお願い  
します。

大石さん(父)とバード仲間

だったりもします。



No.85 伊藤

ホネホネ団とは本で  
出会いネットで調べて  
入団を果たしました。

ニワトリ大好きな

高校生です。

時々しか活動に出ら

れませんが、宜しくお願い

します！

No.56 太田

入団してから、けっこう年月が  
たちましたが、実は、いま

に入団試験を受けて

いません。合格できるの

でしょうか？ 家のとじょうか

根性悪く困っています。

大阪で、理科を教える

フリをしています。

よろしくお願いします。

# むしむしまつりの懺悔

三輪

今から読んでいただくのは懺悔です。6月3日、榎原昆虫館でむしむしまつりが開催されてなにわホネホネ団で出展することになり、それに行くことになりました。前日、団長から送られていたメールには、『あべの橋から急行の吉野行き最後の尾に乗るよりに』と言われていたのに、愚かにも私は、一番前に乗ってしまいました。(おそらく一緒に行く予定だった方々は最後尾に乗り榎原に着けたのでしよう。)ところがいつまでたっても榎原神宮前に着きません。気がつけば終点の近鉄御所。(しまった。この時に愚かな自分に気づきました。そして乾さんにメール。『乗る電車まちがえました。』そのあと、乾さんから電話。「今どこ?」それに私は、「電車の中で。線路を走っています。」などという愚かな回答をしてしまいました。それから話しているうちに、乾さんから救いのお言葉がありました。「尺土から榎原神宮前に行ける。」私は、尺土に向いました。そして榎原神宮前に無事着きました。すると乾さんから「タクシー代払ってあげるからタクシーで行き。」とのことでした。リッチにも、私は、タクシーで、榎原昆虫館に向いました。しばらくするとタクシーの中から乾さんの姿が見えました。そしてタクシー代1600円を払っていただきました。乾さんありがとうございます。

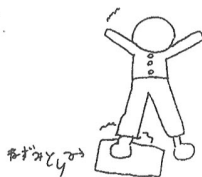
そしてホネホネ団ブースに到着。団長にメールを送ろうと思いききまでつかっていた携帯電話をさがしました。見つかりませんが、建家さんに、電話をかけてもらいました。着信音が聞こえませんが、タクシーの中に忘れてしまったようです。私は乾さんに言いました。「携帯電話タクシーの中に忘れたみたいです。」乾さんは、さっきのタクシーのドライバーさんに、電話をかけてくれました。そして、タクシーはまた来てくれて、携帯電話をかえしてくださいました。乾



さん、建家さん、運転手さん、ありがとうございます。もう、これからは、このようなことのないように、したいです。でもちよつとするかも知れませんが、お札を無くしかけたり、いちごアイスを落としたりもしました。この日は、(いつも、)仕事をやるわけでもなく、解剖したりするわけでもなく、ただただ、ボーっとしました。あと、この悪いことは、しばらくのあいだ、続いたりしました。

おしま

あとは、ボタンがはちきまたり、足のフチ手印したりもしました。



このあと、おみこは、はちきまたり、財布をなくしたり、おみこをふんだりもしました。あとは、凧(凧)を割ったりとかしました。これからはおまかせつきます。



## なにわホネホネ団安全衛生講習会

日 時：12月25日(火)18時30分～19時30分

場 所：大阪市立自然史博物館会議室

講 師：大阪市立天王寺動物園 獣医師 高見一利先生



なにわホネホネ団の活動は、動物死体に触れ、標本作製のプロセスと成果を楽しむことです。しかし、動物の身体にはさまざまな微生物が共生・寄生しています。死後、動物の体内には雑菌が増殖し、また体表からは寄生虫が新たな宿主を求めて動き出します。私たちが取り扱う動物の死因は交通事故だけではなく、感染症を保有している可能性も考えておかなばなりません。

そこで、動物死体を扱う上での最低限の衛生学的知識を共有することで感染症リスクを下げ、だれもが安全に活動を長く続けられることを願い、今回この講習会を開催しました。講演者の高見先生には日ごろから団の活動をご理解いただき、様々なご協力、ご指導をいただいております。また、日本野生動物医学会の感染症対策委員長を務め、この方面の第一人者でもあります。

先生のご厚意により今回の講演資料のコピーをいただきましたので添付いたします。資料を読むだけでも内容を把握できますが、口頭で述べられた事項を中心に補遺させていただく意味でこの議事録を作成しました。一部、私が追記したものもありますがご了承ください。資料とともに各自、読んでいただき、お互いの安全衛生に気をつけるよう心がけましょう。また、今回の講習会をきっかけに、安全衛生の手引を作りたいと考えております。

### 講演内容

#### 1. 人と動物の共通感染症 (Zoonosis : ズーノーシス)

一言で言うと、「同じ病原体によって動物と人の間でうつる病気」。動物から人に伝染するものだけではなく、感染した人からさらに別の人、あるいは人から動物に伝染するものも指す。

#### 2. 伝染のしかた

##### ● 直接伝播

病原体をもっている動物に、噛まれる・引っ搔かれる・舐められる・分泌物(よだれや眼やに、鼻水)や排泄物(糞尿)にふれるなど。死体を取り扱うときは、分泌物や排泄物、血液など、病原体を含む可能性の高いものに接触する可能性が高いことを常に意識してほしい。

##### ● 環境伝播

病原体を含む水や土壌に触れたり、乾燥して空気中に舞い上がった病原体を吸い込むことによる。

##### ● ベクター(媒介者)

ノミ・ダニ・蚊・シラミ・貝などによって病原体が運ばれる。ベクター自身は発症

しない。

- 食品からの感染

肉や魚介の生食による。汚染源から食品を切り離すことが最も重要。

3. 病原体(大きく7つに分類) : 詳細は資料参照

- ウイルス
- リケッチア・クラミジア
- 細菌
- 真菌
- 原虫
- 蠕虫(ぜんちゅう)類(線虫, 条虫, 吸虫)や節足動物
- 感染性プリオン



4. 感染症予防法

衛生的に重要な特定の感染症を第一～五類に分類し、感染者・感染動物が見つかった時点で、行政に届出を行う義務を負う。動物由来の様々な疾病が知られており、中には重篤な症状を示すものもある。



5. 哺乳類標本の取り扱いに関するガイドライン(日本哺乳類学会)

様々な雑菌の汚染に加え、特に注意したい感染症もさまざまである。死体を冷凍保存することでダニ類や蠕虫類は死亡するが、真菌、細菌、リケッチア・クラミジア、ウイルスは死亡・不活化しないことが多い。

6. 予防対策

今回の講演の最重要事項。衣類、手袋、マスクの着用(場合によっては眼鏡)、素手で触らない、消毒する、などが重要なキーポイントである。手袋やマスクは使い捨てとし、汚染した作業衣は専用の洗濯機に消毒液で漬け置き後、洗うのが望ましい。使用した器具類も、消毒液(オスバンなど)に一定時間漬けた後、通常の洗剤で洗うのが望ましい。

また、大げさな踏み込み槽は必要ないが、大型のバットに逆性洗剤を含ませたタオルをいれた履物の消毒も実習室以外への雑菌の持ち出し予防に効果的であろう。

(乾 )



# ネコの猫

— 骨史に残る大発見の軌跡 —

みーたて「見立て」 あるものを、それと似た別のもの以示すこと。「庭園に富士の—の山を築く」

それは2007年のとある夏の午後遅くのこと。

その日は確か、そんなに大物な剥きモノもなく、作業はクリーニングが中心だったような。ともかく、乾きモノ作業で机を囲む「なごやかな活動日」だったと記憶しております。そんな平和な一日を根底からゆるがすような大事件が起こりました。

「ホネホネ団、初見学の日、タヌキ骨のクリーニング作業をやりました。色んな形の骨があるんだなあ、と興味心身でやっていたら、「えっ！ネコ？？」しかもマント着てる！あつ！ここにも」と一人で驚いて、「ホネホネのみなさんが、こんなにかわいい形の骨を今までなんとも思わなかったのかなあ？？私の頭がおかしいのかなあ・・・」と思いましたが、思い切って、3人の団員の方に「すいません。この骨、ネコに見えませんか？」なんて聞いたことが、このスーパーネコの発見につながりました。」

発見者：渡邊

団員談。

これまでの人類史上、およそ何億の人々がこの骨に触れてきたにも関わらず、なぜ誰もこの骨の形状の特異性に気づかなかつたのか。

なにわホネホネ団の団員ならば、すでに「鯛のタイ」は既知のことでしょう。タイだけではなくいろいろな魚にある魚の形に似たこの骨は、肩甲骨、胴体部分は鳥口骨、鯛のタイが乗ってる台のような骨は擬鎖骨だとか。これはまさしく「ネコの猫」（あえて、生物学上のネコと区別するため「猫」にしてみました）。この「猫」は哺乳類の「ある程度の長さのあるしっぽ」にいます。タヌキ、ネコに続いてアライグマでも「猫」が確認されています。

さて、その他の動物に「猫」はいるのでしょうか？発見がまたれるところです。報告乞う。そして、その後「見立て」はさらに続きます。

イルカの（小さい）マエハナラエ およびイルカのプリーリードッグ（写真1）

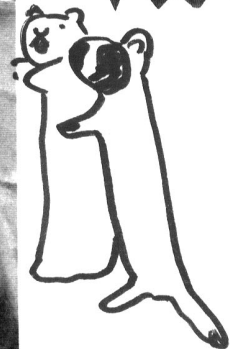
もう「それ」にしか見えません。どの「見立て」も決して無理矢理こじつけているわけではアリマセン。実物を見れば誰もが納得。世紀の大発見はこれからもまだまだ続くと思われます。

コツをひとつ。

「骨を洗おう！骨を磨こう！無心になれる作業から、いつもと違う世界が見えるはず。アナタにも大発見のチャンスあり」

(谷)

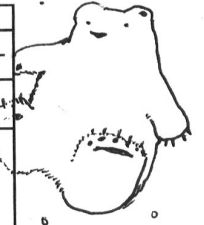
これが「マエハナラエ」の「プリーリードッグ」だ。



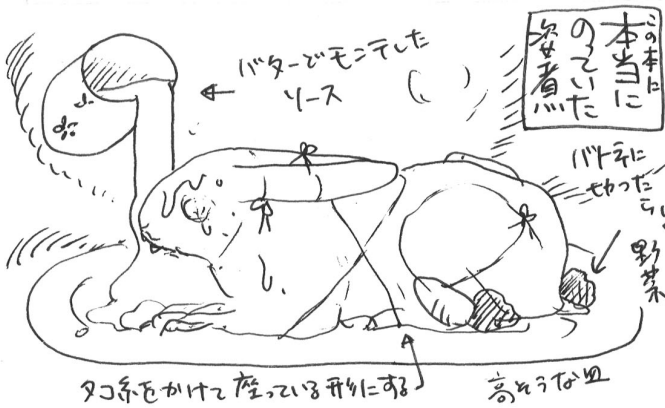
掲載誌の紹介 

「EARTH」は、ホウキョクグズが「ドボン」とびびるシーンがホスターにものびて有名です。でも何故か本編にこのシーン出てこないのよ。

掲載・開催日	掲載メディア・会場	記事・タイトル	内容
2007年8月27日	産経新聞	いきいき生活コーナー 標本は大事な文化財	西澤団長インタビュー
2007年9月13日	双康イラストニュース 923号	獣と鳥の標本作りで 自然の記録を次々に残す	活動紹介
2008年1月	Lマガジン 2月号	なにわホネホネ団なら、こう観る！ 驚異の地球一周・動物の旅 『アース』。	西澤団長の映画評



前号につづき、活動紹介が2件ですが、今回は団長が映画評を書いています。Lマガジンは以前からホネホネ団に注目して応援してくれています。映画『アース』は野生動物をリアルに撮影して見ごたえは十分。かなり一般受けしているので、「ホネホネの7ポイント」をしっかり見てごよう！ それ以上に驚きなのが、「双康イラストニュース」。小学校の廊下に貼ってある健康や理科なんかテーマのニュースにホネホネ団が載るとは…。全国の小学校に貼ってあるんだらうか？ 実習室の壁に貼ってあるのでぜひご覧下さい。(高田)



**ほね？本紹介**  
**「フランス料理フォーラム〜**  
**フランス料理の探求(下)」**  
 フランス・デュ・ラント(著)  
 5800円←高!  
 柴田書店  
 ISBN4-388-05691-x

解説書は解説できていることが必須条件。しかし、技術レベルが日常を超える凡人には理解不能の書物となる。中身はこんな感じだ▼『ポワレ、セニャンくらいで上げ保温。バトネに切りブランシールシエキユメしながら煮込んでスクエする。ロティールしている間に甘さが広がる。リマをやかに仕上げたところに、ジュ・ダニョーを加えて煮詰め、バターでモンテしたソースを添える…。▼パソコンの「ヘルプ」を開いたときの救われぬ感じにも似た、何が何だかさっぱりわからないフランス料理の専門書。▼注目は後半の「獣(シビエ)編だ。野ウサギ、仔イノシシ、シカ。これらの処理方法が淡々と写真付きで解説される。▼リエーヴル(野ウサギ)のデブイエ(皮むき写真に至っては、まんまホネホネ団である。当然、魚をゴム手袋して調理する人がいないように、けもの皮むきもまな板の上で、素手でやっている。共通感染症対策的には見た目ダダダナな感じ。▼とにかくクロ画像といわれて怒られる皮むき写真も料理書であれば許されるらしい。▼これからは皮むきと呼はず「タヌキのデブイエお願いします」とか「このイタチのアバ(内臓)はとても新鮮です」と使ってみました。



(団長・ニザワ)

くささいコーナー

- ・B4のコピー用紙
- ・洗剤
- ・洗濯機
- ・おやつ
- ・死体
- ・お茶
- ・電気ポット



ありがとうコーナー  
 河野ジュ-家: 菜00113113  
 ・タリエン: おやつ、お茶  
 ・おい布 コピー用紙  
 ・死体本。

## 2007年5月以降の成果品

熱心な団員のみなさん、よく頑張りました。

### 2007年

- 5月20日：皮剥き（メジロ1、アカエリヒレアシシギ1、タヌキ1、テン5、ウサギ2、ウサギの後ろ足1）。皮処理（タヌキ4、ウサギ1、アライグマ1、タヌキ8、キツネ1、アライグマ1）。
- 6月22日：皮処理（ダマシカ、バーバリーシープ、イノシシ1、ニワトリ、ウシガエル）。
- 6月30日：皮剥き（タヌキ10、メジロ1）、骨洗い（タヌキ）、皮処理（ウサギ、テン・タヌキ・アライグマ）。
- 7月24日：皮剥き（アライグマ1）、骨洗い（タヌキ14、イノシシ6、ハクビシン2、セグロジャッカル1、ゴマフアザラシ1、キツネ1、テン1、ウサギ1ほか）。
- 8月14日：皮剥き、脂肪取り（クマ1、ニホンジカ1、イノシシ1）。
- 8月15日：皮剥き（シジュウカラ4、アオジ1、クロジ1、オオコノハズク1、アオゲラ1、イソヒヨドリ1、ムクドリ1、アカハラ1、ツグミ1、ヒヨドリ2、ウサギ1）。骨処理（ニホンジカ1、イノシシ1、ツキノワグマ1）、骨整理（タヌキ・アライグマ・ネコ・ウサギ）。
- 8月16日：解体（スナメリ1、カマイルカ2）。皮処理（イノシシ1、ツキノワグマ1）。骨整理（タヌキ、アライグマ）。
- 8月19日：解体（カマイルカ1）。皮処理（イノシシ1、シカ1）。骨整理（タヌキやアライグマ、イノシシ）。
- 9月7日：イタチ37頭を準備。27頭を、測定・記録。13頭を皮剥き。
- 9月8日：皮剥き（タヌキ2、アライグマ2）、皮処理（タヌキ2）、骨洗い（アカウミガメ2）。
- 9月15日：皮剥き（オオセグロカモメ、アオサギ、ハシボンガラス、キジバト、カワセミ、タヌキ、アライグマ、テン、皮処理（タヌキ3、アライグマ3、ハクビシン1）、骨整理（タヌキ、テン、イノシシ））。
- 10月6日：皮剥き（ハシブトガラス、ハシボンガラス、アオバズク、クロツグミ、タヌキ、アライグマ、シマリス）、骨整理（ムササビ、アナグマ）。
- 10月26日：皮剥き（ツキノワグマ、ドバト、キジバト）。
- 11月4日：組み立て（マイルカ）、骨処理（ツキノワグマ）。
- 11月16日：皮剥き（ハシブトガラス、ドバト、キジバト）。皮処理（タヌキ4・アライグマ・ハクビシン、テン）。
- 11月25日：皮剥き（アライグマ1、タヌキ3）。骨処理（タヌキ、アライグマ、スナメリ）。
- 12月7日：何したんだろう～
- 12月23日：皮剥き（アライグマ1、タヌキ3、ヤギ1、テン1、キツネ1）。皮処理（ツキノワグマ1、タヌキ4）。
- 12月24日：解体（スナメリ）。皮剥き（アライグマ1、タヌキ1、イノシシ3）。皮処理（ツキノワグマ1、タヌキ3、キツネ1、テン1、ヤギ1）。骨処理（タヌキ4、キツネ1、テン1、ヤギ1）。
- 12月25日：皮剥き（タヌキ2、テン1）。皮処理（ツキノワグマ1、アライグマ1、タヌキ1、イノシシ）。骨処理（キツネ1、アライグマ1）

### 2008年

- 1月18日：皮剥き（イタチ11、コアホウドリ1）。組み立て（ハセイルカ1）。
- 1月20日：皮剥き（タヌキ1、キツネ1、ヤギの足2、オオミズナギドリ1）。骨洗い（マレーグマ、カマイルカ）。組み立て（ハセイルカ1、アオダイショウ、モグラ）。
- 2月3日：皮剥き（タヌキ1）、骨洗い（タヌキ2、バーバリーシープ、ダマシカ、ニホンジカ）。肉取り（カマイルカ2）。



タヌキ処理中

2007年7月現在の  
ホネホネ団員数は91名！  
もうすぐ3桁だ！

# 館外活動!

大物拾いに3回、出展1回、フォーラムに1回遠征。学会に乾団員が単身乗り込みました。

2007年

6月3日 檀原昆虫館 むし祭り (実演と販売)



出展テント。  
これが風で...



見学する子を写真に  
撮る母

三輪団員が  
すさまじい悪業の  
数々をかけたおまじ  
くわいはザンゲッ

乾団員



オサガメを掘る団長。誰も  
手伝ってないぞ!

7月11日 新潟市柏崎市 カマイルカ拾い

(『大阪湾ウミガメ・クジラ回収班』初の大阪湾岸外への遠征)

7月20日 兵庫県洲本市由良町 成が島 オサガメ1頭

(昨年秋以来2度目の『大阪湾ウミガメ・クジラ回収班』淡路島遠征)

8月29日 兵庫県洲本市由良町 成が島 ハシナガイルカ1頭

(『大阪湾ウミガメ・クジラ回収班』淡路島遠征 第2弾)

8月30日-9月5日 台湾 乾団員によるアジア野生動物医学会ポスター発表、台北動物園出張鳥

皮むき、中興大学ホネホネ講演など。詳しくは「ホネホネ in 台湾」をご覧ください。

12月8~9日 動物園水族館協会教育研究会大会 琵琶湖博物館にて 団長が活動発表



団長発表中

動物園のかわい... 生きものたちを、どうやって教育  
プログラムにしたか... 研究会で、  
死体を楽しくむいて学ぼう! という午の発表は  
かなり浮いてました...  
でも一部にはなっていました。

あ、  
誰も  
笑ってない!  
...  
片手  
だけ

皆様のおかげで今号のホネ通は、前号  
から半年しかたつていないのに盛り沢  
山! これからもよろしくお願ひします。  
(編集長・高田)

## 編集後記

**ホネホネたんけんたい**  
監修・解説/西澤真樹子  
写真/大西成明 文/松田素子  
2008年 アリス館/発行 1500円  
ISBN 978-4-7520-0380-9



**団長絵本 絶賛発売中!**  
今度は団長が絵本を出版! 「小さな骨  
の動物園」でおなじみの大西成明氏が撮  
影した美しい写真と団長の骨解説。団長  
の解説は一見マンガのようだけど、もの  
すごく勉強になること間違いなし! も  
れなく「ホネホネたんけんたい隊員証」  
がついてくる!